

燃油・生産資材等の価格高騰対策に関する緊急要請

新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に停滞していた経済活動が回復期に入ったことから、原油需要が拡大するなど価格上昇を続けており、今後一層の需要増大が見込まれています。しかし、原油産出国はコロナの再拡大を恐れ、増産に消極的な姿勢にあることから、需給環境を悪化させており、価格高騰に拍車をかけています。

そうしたなか、農業生産に欠かすことのできない動力機械や施設ハウスに使用する燃料をはじめ、各種生産資材（肥料、飼料など）や農業用施設の価格が昨年より上昇し続けています。一方、コロナ禍などの需要減退から農産物価格が低迷しており、生産資材等の価格上昇は、生産を続ければ再生産可能な価格を下回る環境にあり、生産者の農業経営を圧迫しています。

ついては、食料の安定供給と農業の持続的発展を図るため、燃油・生産資材等の価格高騰対策について、万全な政策を講ずるよう下記の通り緊急要請致します。

記

I. 燃油価格の対策について

農業用に使用する軽油については、昨年より価格上昇が続いているほか、園芸農家では冬期間において施設ハウス用の燃油使用量が増加することから、価格上昇分を補填する対策を強化するなどの価格高騰対策を講ずること。

II. 生産資材や農業用施設対策について

燃油価格高騰に連動して、石油製品をはじめ各種生産資材に加え、農業用施設などの価格も高騰し、農業経営を圧迫していることから、農家負担の軽減を図る対策を講ずること。

III. 飼料価格対策について

配合飼料の原料となるトウモロコシや大豆粕などの高騰により、配合飼料価格が上昇し、配合飼料価格安定制度において通常補填が3期、異常補填が2期連続で発動していることから、補填金の財源が不足することがないように十分な予算を確保し、酪農・畜産の経営安定に資すること。

2021（令和3）年 11月

北海道農民連盟
委員長 大久保 明義